

# 川の国埼玉 はつらつプロジェクト 提案書

主題（テーマ）

～ 歴史と環境の架け橋 「出羽堀」の保全 ～

提案箇所

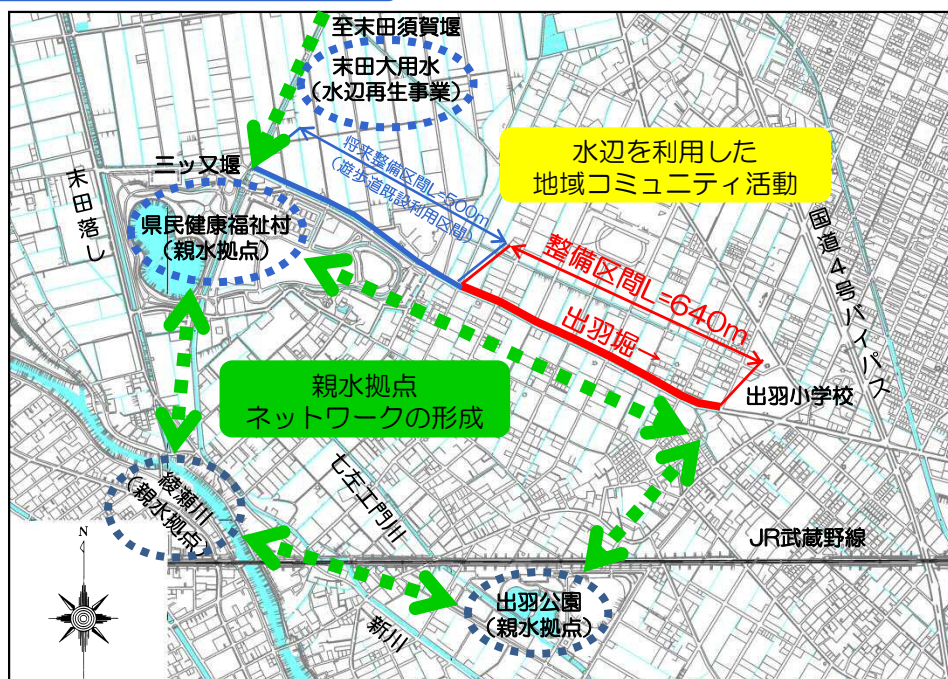
出羽堀／越谷市水郷こしがや出羽地区

越谷市

本市では「越谷市観光振興計画(H28.4)」において、地域で暮らす住民や地域を訪れる多様な人が、5本の一級河川などの豊かな水辺空間や郊外に広がる田園風景、自然環境を背景に、歴史、伝統、文化、食、エンターテインメント、産業などの地域資源でつながり、地域に誇りや愛着を持つことで、たくさんの笑顔であふれるまちづくりを進めています。さらに、人々が出会い、交流し、それぞれの魅力を発揮することで、にぎわいを創出する活力ある“こしがや”を目指しています。

末田大用水から分流する[出羽堀]は徳川二代将軍秀忠のころ、越ヶ谷領土豪会田出羽介正之が綾瀬川流域の低湿地帯を干拓した歴史に由来し、このため開かれた水路が「出羽堀」です。以来、「出羽堀」は地区の名称にもなり、地域の農業や人々の暮らしを支えてきました。本提案では、この「出羽堀」を歴史と環境の架け橋として位置付け、環境に配慮した水路の整備と併せて遊歩道などの整備により魅力ある水辺空間を創出し、周辺の親水拠点を結ぶ親水ネットワークを形成します。さらに、“出会いと感動”を合言葉に市民との協働によるイベントや維持管理活動を展開し、にぎわいの創出と環境への意識向上、郷土愛(シビックプライド)を育みます。

## 取組のイメージ図



## 計画等の位置付け

■「越谷市観光振興計画(H28.4)」  
地域で暮らす住民や地域を訪れる多様な人が、5本の一級河川などの豊かな水辺空間や郊外に広がる田園風景、自然環境を背景に、歴史、伝統、文化、食、エンターテインメント、産業などの地域資源でつながり、地域に誇りや愛着を持つことで、たくさんの笑顔であふれるまちづくり。さらに、人々が出会い、交流し、それぞれの魅力を発揮することで、にぎわいを創出する活力ある“こしがや”を目指しています。

■「第4次越谷市総合振興計画・後期基本計(H28.4)」  
出羽堀は地名の由来であり、歴史的にも価値のある用水路であることから、昔からの雰囲気を残した親水空間を創出し、その活用によるコミュニティづくりを地区の将来像としています。さらに、親水空間の創出や地区の歴史・文化を継承するまちづくりを地区の目標に掲げています。

■「越谷市都市計画マスタープラン(H23.3)」  
まちづくりの方針の中で、出羽堀については、地域の風土と文化を形成する重要な要素として、個性を活かした親水空間の整備・活用方法を検討することとしています。

## 目標・成果指標

- 水辺の空間とネットワークづくり
  - ・「水郷こしがや」を特徴付ける川や用水路を活かし、水辺を快適に歩ける遊歩道の整備を行い、水辺の賑わい創出と親水拠点のネットワークを形成します。
- 水辺を利用したコミュニティづくり
  - ・ボランティア活動やイベントなどを通じ、地域住民の活力向上と地域活動の活性化を図り、郷土愛を醸成します。

成果指標	現在	整備後
遊歩道の通行者数	—	4万人/年
ボランティア数	—	50人

## 位置図



5 県民健康福祉村



6 出羽堀



7 出羽公園



1 元荒川と葛西用水

水辺空間を活用したまちづくり



2 葛西用水ウッドデッキ (川のまるごと再生事業)



3 越谷レイクタウン



4 (水辺再生/川のまるごと再生事業)

- 1 平方川 2 上船川 3 下船川 4 新松川 5 小樋口川 6 差輪川  
7 手前川 8 葛西用水(逆川) 9 掛樋川 10 弥十郎川  
11 花田用水 12 四ヶ村用水 13 谷古田用水 14 東京葛西用水  
15 八条用水 16 新用水 17 見田方用水 18 新見田方用水  
19 南百用水 20 須賀川 21 森野川 22 竹道川 23 末田大用水  
24 越谷用水 25 根井堀用水 26 谷中用水 27 出羽堀

## 川や用水路の状況

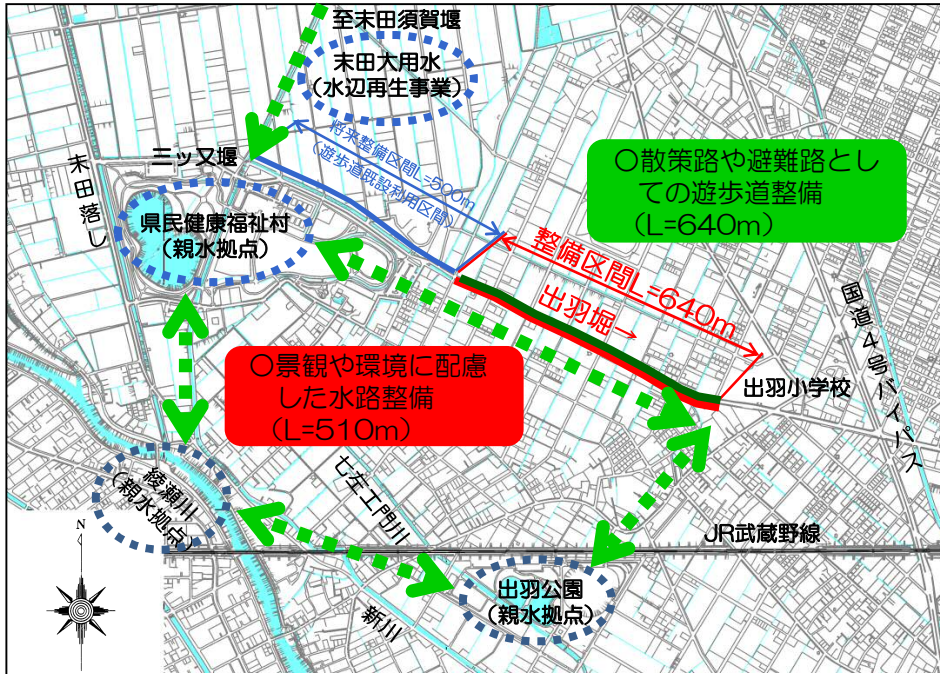
- 市内の一級河川
  - ・市内を多くの一級河川が流れています。  
5本 延長約44km
- 川の国広援団の登録数32団体
- 川や用水路の特徴
  - ・水辺を利用した緑道整備を進めています。  
17箇所 延長約4.8km
- 過去の水辺再生事業
  - 水辺再生事業(逆川・葛西用水)  
景観護岸:1式など
  - 川のまるごと再生事業(葛西用水)  
ウッドデッキの整備:延長389.1m
  - 水辺再生事業(元荒川/越谷)  
遊歩道の整備:延長121mなど
  - 水辺再生/川のまるごと再生事業(東京葛西用水)  
遊歩道の整備:延長1,534mなど
  - 水辺再生事業(新方川)  
遊歩道の整備:延長180mなど
  - 水辺再生事業(元荒川/神明工区)  
遊歩道の整備:延長1,100mなど
  - 水辺再生事業(末田大用水)  
遊歩道の整備:延長800mなど
- 末田大用水から分流する[出羽堀]は徳川二代将軍秀忠のころ、越ヶ谷領土豪会田出羽介正之が綾瀬川流域の低湿地帯を干拓した歴史に由来し、このため開かれた水路です。以来、「出羽堀」は地域の農業や人々の暮らしを支えてきました。

## まちの状況

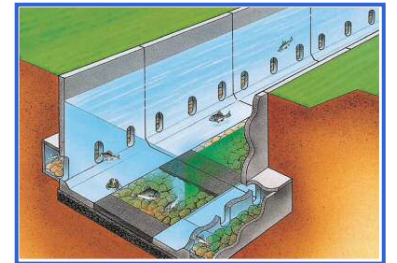
- 地域資源
  - ・本市は古くから「水郷こしがや」と呼ばれるほど水の豊かな地域として発展してきました。市内には大小さまざまな水の流れがありますが、大きなものだと、元荒川、大落古利根川、新方川、中川、綾瀬川という5本の一級河川があります。また、疏水百選に選定された葛西用水を筆頭に27もの主要な用水路が流れています。  
このため、本市では水と緑の豊かな水辺空間を活用した街づくりや、賑わいの創出を積極的に進めています。
- 課題
  - ・河川とともに「水郷こしがや」の特徴的な景観を形成してきた用排水路は、農地の減少や家庭雑排水などの流入により、次第に存在価値が薄れつつあります。  
しかし、用排水路は市街地で数少ない自然環境であり、美しい景観を形成する上でも貴重な財産です。このため、親水環境を積極的に創出し、地域の魅力の象徴として、さらに観光資源として再生する必要があります。



## 位置図



水路と遊歩道整備のイメージ



環境にやさしい水路整備のイメージ

## 実施してほしい整備概要

- 出羽堀の整備 (延長 約510m)
  - ・ 景観や環境に配慮した水路整備
  - ・ 転落防止柵の設置
- 遊歩道の整備 (延長 約640m)
  - ・ 散策路や避難路としての遊歩道整備
  - ・ 植栽

## 工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
出羽堀の整備		●————●	————●	————●	————●	420百万円
遊歩道の整備			●————●	————●	————●	32百万円